

日能研	6年		
	算数		
学習内容	4月の学習内容 第25回「割合と1あたりの量」 第26回「比が使われている文章題」 第27回「濃度」 第28回「お金に関する問題」		
家庭学習ポイント	6年生の4月は、割合や比に関連する文章題を中心に学習する1か月になります。「比が使われている文章題」では比例式、連比、比例配分、逆比と学習した後に、文章題に取り組んでいきます。比の数字は割合と同じように、それぞれものが割合を表しますが、計算に組み込んで新たな比を計算することができます。たとえば「10円玉と50円玉の枚数の比が5:3」だったら、それぞれの合計金額は「1枚の金額×枚数」で表されますから、合計金額の比は「 $10 \times 5 : 50 \times 3 = 50 : 150 = 1 : 3$ 」となります。様々に利用する考え方なので、しっかり習得しておきましょう。2人が同じ金額を使う（あるいはもらう）問題や、2人の年齢の問題は「差一定」の問題ですから、線分図を書いて考えることができます。比を積極的に使い、前後で「比合わせ」を行う作業を理解し、習得してしまいましょう。「濃度」は5年生でも学習しました。6年生の学習でも基本から始まり、食塩水同士の混ぜ合わせ、水入れ、水分蒸発などさまざまなパターンの問題を学習します。てんびんや面積図などを積極的に使用し、できるだけ手際よくミスなく正解が出せるよう訓練しておくことが重要です。違ったこさの食塩水から、それぞれ同じ重さの溶液を交換する「同量交換」は入試頻出です。「お金に関する問題」は売買損益に関する問題です。線分図を書いて整理して考えるようにしましょう。「原価から割り増して定価→定価から割り引いて売り値」と続く問題が多く、その上で様々なパターンのバリエーションがあります。文章が長い問題も多く、集中して取り組む必要があります。		
課題の把握と解決策	チェック1	「1つあたりの量の比×個数の比＝全体量の比」を使いこなせていますか？	チェック
	解決策	「80円切手と120円切手の枚数の比が5:2だったら合計金額の比は？」といった質問で確認しましょう	<input type="checkbox"/>
	チェック2	問題によって最適な図を用いて考えることができますか？	チェック
	解決策	「どうしてその図を書いて解くといいの？」と質問してみましょう。理にかなった答えが返ってきたらOKです	<input type="checkbox"/>
	チェック3	小数計算は正確にできていますか？	チェック
	解決策	解き方がわかっているのに計算間違い、という6年生は多いです。濃度の問題を解くことが計算練習にもなります	<input type="checkbox"/>
	チェック4	線分図を正しく書いて考えることができますか？	チェック
	解決策	式だけで解いているとミスも多く、解ける問題のレベルも頭打ちになりがちです	<input type="checkbox"/>
	チェック5	複雑な売買損益の問題で「何をしているかわからなくなる」ことがないですか？	チェック
	解決策	いちいち立ち止まって「この計算で何が出たのか」を考え、単位やメモを書き込むようアドバイスを	<input type="checkbox"/>
日能研	6年		
	国語		
学習内容	4月の学習内容 第25回「文章の展開と理由」 第26回「要約する」 第27回「要旨をまとめる」 第28回「自分の意見をまとめる」		
家庭学習ポイント	論説文を読み、内容を要約したり、書かれている筆者の考え（要旨）をまとめる、といった学習を行う1ヶ月です。第26回「要約する」は、論説文の中で述べられている筆者の考えを『因果関係』『対比の関係』から読み解き、最後にあらためて『段落構成』に注目して（自分の言葉で）文章を要約する練習です。「自分の言葉で要約する」のは、素材文の結論が「わかりやすい形」のものとは限らないからです。結論が比喩で述べられている場合、それが具体的にどういうことなのかを明らかにしなければなりませんね。これまでも、もちろん論説文の読解は何度も学習してきましたが、より1段階上の読解技法です。第27回「要旨をまとめる」で大きなポイントになるのは、要旨（＝筆者が言いたいこと）がどこに書かれているのかということです。多くの場合は結論部分（最終段落）または最初の段落ですので、意識しながら読み込んでいきます。要旨の「核心」となる部分を見つければ、それに他の段落の内容を付け加えてまとめるべきかどうかを検討していきます。以上のように論理的に「理詰め」で文章を読んでいく訓練となりますので、この4月にしっかり身につけてしまいましょう。		
課題の把握と解決策	チェック1	論説文の要旨がどの部分に書かれているかを意識して読んでいますか？	チェック
	解決策	上記を参考に「筆者の言いたいことは、どこに書かれていることが多いの？」と質問してみましょう	<input type="checkbox"/>
	チェック2	「なんとなく読んで内容が理解できているからOK」になっていませんか？	チェック
	解決策	点数を取るためには、特に論説文は（本来は物語文も）「理詰め」で読むことが必要と伝えましょう	<input type="checkbox"/>
	チェック3	育成テストの「共通問題」は正解できている？	チェック
	解決策	上位クラスの子にとっては必須、下位クラスの子には「クラスアップへの手応え」となります	<input type="checkbox"/>
	チェック4	「計算と漢字」は毎日コツコツできていますか？	チェック
	解決策	漢字はお子さんが覚えやすい方法を知るため、漢字辞典などで成り立ちや例文など参照しましょう	<input type="checkbox"/>
	チェック5	読解に気を取られ、毎回の語句の学習がおろそかになっていませんか？	チェック
	解決策	「入試前にまとめて」は不可能です。過去問演習など想像以上に忙しいと考えておきましょう	<input type="checkbox"/>

日能研	6年		
	理科		
学習内容	4月の学習内容 第25回「星・太陽」 第26回「月」 第27回「気象 熱の移動と天気」 第28回「気体と化学反応」		
家庭学習ポイント	<p>「月」では、月に関する全てを学習（復習）します。今後、すべての学習分野がこのようなスタイルの学習になりますので、「この1回で完全にマスターしてしまう」ことを目指して学習しましょう。月に関しては覚えるべきことも多いですが、満ち欠けや動きなどに関しては、できるだけ暗記することを少なくし、しくみを理解することや因果関係を考えることで効率よく知識を拡充しましょう。月の満ち欠けに関しては、地球のまわりを公転する月の図を書き、太陽の光が当たる様子を確認することで、覚えるべきことはぐっと少なくなります。「気象」に関しても、この1回で「気象のすべて」を扱いますが、「熱」に注目して学習する切り口になっています。太陽の熱によって地表や地表付近の空気が温められ、上昇気流がおこることで低気圧ができ、風が吹きます。1日の気温の変化も、年間の気温の変化も、原因となるのは太陽の熱ですから「熱」を軸に気象を学習するのは理にかなっているわけです。「月」同様「丸覚え」をできるだけ少なくすることがポイントです。「気体と化学反応」は化学計算全般を扱います。気体の発生、中和など様々ですが、問題に示された条件を書き出し、「過不足なく反応する組み合わせの何倍になっているか」に注目して比例計算を行います。</p>		
課題の把握と解決策	チェック1	月の公転周期（27.3日）と満ち欠け周期（29.5日）がずれる理由をわかりやす説明できますか？	チェック
	解決策	親御さんが聞いて納得できる説明ができればOKです	<input type="checkbox"/>
	チェック2	月の問題を考えるとき、図を書いていますか？	チェック
	解決策	暗記に頼らない学習を目指すのが、逆に入試に向けて暗記分野で得点力を上げるポイントになります	<input type="checkbox"/>
	チェック3	天気図記号や雲量（空全体に対する雲の量）を「丸覚え」していませんか？	チェック
	解決策	天気図の「快晴・晴れ・くもり」は「雲の量」、雪やあられは「降ってくるものの形」で覚えるよう アドバイスを	<input type="checkbox"/>
	チェック4	化学計算の「カレーライスの法則」を知っていますか？	チェック
	解決策	AとBが反応してCができる場合、AとBの一方だけたくさんあっても、できるCは少ない方に合わせ てしかできません	<input type="checkbox"/>
	チェック5	とはいえ気体の性質など覚えるしかないものもあるので、暗記の作業はコツコツできていますか？	チェック
解決策	「メモリーチェック」などを使って毎日コツコツ続けましょう（難関校狙いのお子さんはもう少し高 レベルな教材で	<input type="checkbox"/>	
日能研	6年		
	社会		
学習内容	4月の学習内容 第25回「国のはじまりと大和政権」 第17回「律令政治と貴族の政治」 第18回「鎌倉幕府とモンゴル軍の襲来」 第19回「室町幕府と戦国時代」		
家庭学習ポイント	<p>歴史分野の総復習に入っています。第17回～19回にかけて奈良時代までの律令政治の時代～貴族中心の平安時代、鎌倉～室町幕府といった武士中心の時代までを復習します。1回の授業で扱う範囲が他教科同様非常に広がっているので、特に歴史分野が得意でないお子さんは、なんとなく流してしまわないよう注意する必要があります。「この1回の授業で〇〇時代を完璧にマスターしよう」という意識で臨んでほしいのですが、そのためには「本科教室」「栄冠への道」だけに頼るのではなく「使えそうなものをすべて使う」というスタンスで取り組みましょう。マンガや動画を併用するなど、その時代の「イメージ」を掴むことを目指してください。たとえば平安時代であれば、圧倒的に「貴族の時代」であり、その次代を最もよく表している「主人公」は「藤原道長」でしょう。娘たちを次々と天皇と結婚させ、実権を握った道長は平安時代を代表する人物といえます。同様に第18回の鎌倉時代、19回の室町時代についても「主人公」「代表的な人物とその理由」が言えるようにしておくことが大切です。</p>		
課題の把握と解決策	チェック1	歴史（国内史・政治史）の知識に大きな「穴」はないですか？	チェック
	解決策	あやふやさや不安定な部分がある場合は、文化史、外交史と並行して上記のように復習を進めましょ う	<input type="checkbox"/>
	チェック2	地理の学習を「放置状態」にしようとしていませんか？	チェック
	解決策	特に地理が苦手、好きでないお子さんは要注意。日常の朝学習などルーティンに組み込みましょう	<input type="checkbox"/>
	チェック3	各時代の「イメージ」をはっきりと持つことができていますか？	チェック
	解決策	奈良時代なら「仏教の教えをもとに律令体制が飛鳥時代から続いたが、崩れ始めた」など	<input type="checkbox"/>
	チェック4	育成テストのなおしはできていますか？	チェック
	解決策	「テストでいい点を取るのと同じくらい（それ以上に）なおしは大切」と教えてあげましょう	<input type="checkbox"/>
	チェック5	テキスト以外のツールも活用していますか？	チェック
解決策	どうしても社会が苦手、というお子さんに限らずですが、マンガや動画など利用できるものは利用し ましょう	<input type="checkbox"/>	